

## 2021 年度大分県在宅医療セミナー報告書

近年、高齢化の進展等により在宅医療のニーズは高まっており、より多くの医療機関に訪問診療、往診などの在宅医療を担っていただく必要があります。

そこで昨年度から、大分県からの委託で大分大学医学部附属地域医療学センターが事業を担い、医療従事者向けの在宅医療に関するセミナー等の事業を実施することとなりました。昨年度は、在宅医療の診療報酬について特別講演を企画し、制度・診療報酬の点からスタートアップセミナーを開催しました。

今年度はそれぞれの地域に即した在宅医療の提供の問題点、工夫点を明らかとすることを目的に、大分県を3つのエリアに分け、3回に分けて在宅医療セミナーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で大人数が一つの会場に集まり開催することが困難であり、WEB開催としました。

第1回は10月17日に大分市、由布市、臼杵市、津久見市、佐伯市を対象に開催しました。私塩田が「大分県の在宅医療の現状と課題」と題して講演を行わせていただきました。特別講演は医療法人優心会ハートクリニック院長小野隆宏先生による「How to 在宅医療」と題しての講演を賜りました。その後の意見交換ではICTの活用法について議論がありました。

第2回は11月14日に中津市、日田市、玖珠町、九重町、竹田市、豊後大野市を対象に開催しました。第1回同様の私塩田の講演ののちに、特別講演はよつばファミリークリニック副院長平山匡史先生による「訪問診療の一步を踏み出すために」と題しての講演を賜りました。その後の意見交換では地理的な面から、広範囲の在宅医療の実施は難しいという意見もありました。訪問看護の利用やICTの活用が重要と思われれます。

第3回は12月12日に別府市、豊後高田市、宇佐市、杵築市、日出町、国東市、姫島村を対象に開催しました。第1回同様の私塩田の講演ののちに、特別講演は医療法人新生会高田中央病院理事長の瀧上茂先生による「医療法人・新生会の豊後高田市での在宅医療提供の現在と将来」と題しての講演を賜りました。その後の意見交換では住民への在宅医療の警察が必要という一方で、スタッフの確保にも難渋している問題があることが浮き彫りとなりました。

合計70名(医師40名、医師以外30名)が参加され、参加者から活発な質問、コメントもあり、今後の大分県の在宅医療の向上に貢献できたと思われれます。

文責：塩田星児

## ②体制を構築する

- 訪問診療を行う形態を決める

- 外来診療併行型      訪問診療特化型
- ソロプラクティス型      複数医師型      グループ診療型
- 総合診療型      専門診療型

※在宅支援診療所（病院）・機能強化型在宅診療（病）の届け出を行うか否か

- 必要な人材を確保する

- 連携医療機関（基幹病院・診療所）を確保

- 多職種連携構築

（訪問看護、居宅介護支援事業所・地域包括支援センターが特に重要）

大分大学

大分大学



小野 隆宏

大分大学 宮崎...

大分大学 宮崎英士

Owner

Owner